

奨励賞

○設計者

葛西 潔

- 東京建築士会
- (有)葛西潔建築設計事務所



写真撮影：鈴木賢一

○専用住宅

木箱・深大寺 56/100

- 東京都調布市

▶▶▶ 選 評

深大寺の南斜面部に据えられた下見板貼り外装のこの住宅は、この設計者が長年重ねてきた軸組+壁式の木造構法による木箱と呼ぶ100を超えるシリーズの56番目の作品である。

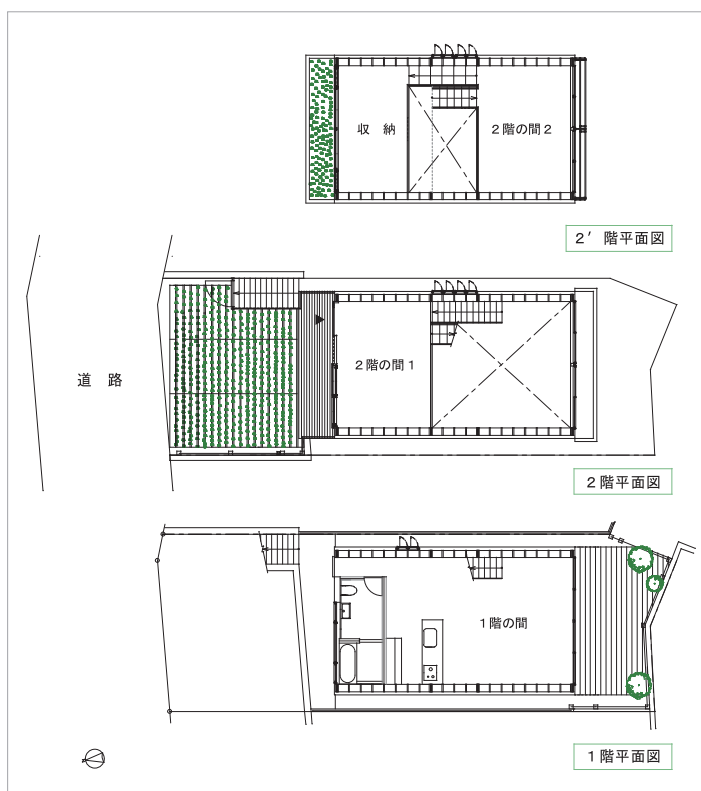
東西の壁は、2インチ×12インチ@450の柱と合板で構成された棚状の耐震壁であり、それらを床でつないだいわば連続ワンルーム構成の住宅である。南北軸の水平力は東西の合板壁で負担し、東西軸の水平力は2インチ×12インチの柱とそれを挟み込むように組まれたダブルの同寸の梁による軸組によって負担するシンプルな構造であり、各床のレベルと面積を変化させながら空間の連続感と独立性を保ち、家族の構成と立地によってさまざまな展開が可能である。特に南北外壁に壁が不要であり、限られた間口の住宅敷地の多い日本にあって、あらたに前面道路との関係をつくりだす可能性を有したシステムであり、自ら施工する体制を整えているというのも説得力がある。

南側に建つ隣地住宅のため、せっかくの居間外部のテラススペースからの眺望が限られていることが残念であるが、夜間電力を使用した床暖房と自然換気中心の冷房がこのワンルームにふさわしく感じられた。

(櫻井 潔)



A



平面図



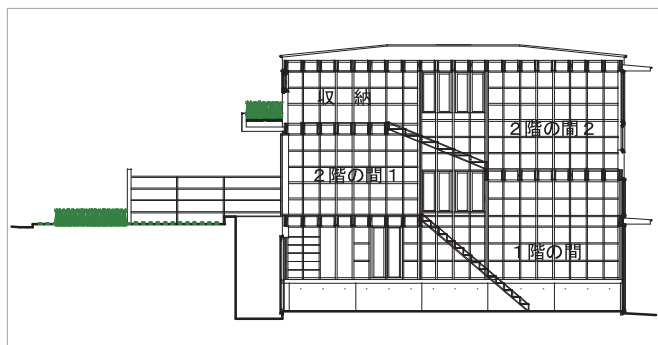
B



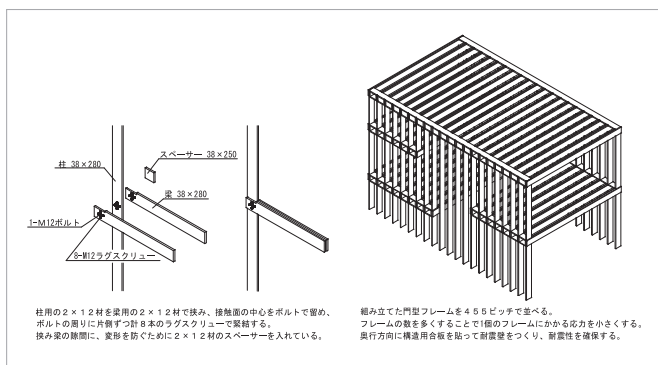
C



D



南北断面図



木箱212構法の仕組み。枠組壁構法の規格部材2×12材を柱と梁に使用し、門型フレームをつくり、細かいピッチで並べてトンネル状の架構を形成する構法である。特許取得済みで、これまで60棟が完成している

A：吹抜け B：2階の間1より南を見る

C：北側外観 D：1階南面開口

- 構造・階数：木造、地上2階建
- 敷地面積：130.00㎡
- 建築面積：51.87㎡
- 延床面積：95.31㎡
- 竣工：平成22年5月15日